

令和元年度県立いなみ野特別支援学校の学校評価について（報告）

平素は、県立いなみ野特別支援学校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、令和元年度の学校評価結果をまとめましたので、HP上にて公開します。

1 調査対象及び調査期間

- (1) 保護者 令和元年10月7日（月）～10月18日（金）
- (2) 教職員 令和元年10月7日（月）～10月18日（金）

2 調査方法

調査用紙の調査項目については、本校の調査項目をもとに本校学校評価委員会が作成しました。昨年度において、学校の教育目標と対照させて項目を入れたり、項目内容を付け加えたりして学校評価委員会が調査用紙を作成しました。基本的な内容の変更はありません。

評価段階は、5段階で（5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：あまりそう思わない 2：そう思わない 1：わからない）で評価しました。

調査対象は、本校保護者（複数在籍については1回答）及び本校全教職員で、無記名とし、保護者から厳封でアンケート用紙を回収しました。

評価された理由や改善点を提示するため具体的な記述もお願いしました。

3 アンケート回収状況及び評価結果

(1) アンケート回収状況

保護者：77%、教職員：100%

(2) 集計結果

別表1 及び 別表2 のとおり

4 評価結果について

概ね良好な評価結果ですが、評価結果のうち「3：あまりそう思わない 2：そう思わない」の合計が12%を超えるものについて課題と捉え、これらについて検討を行い、学校評価委員会より提言を行いました。（別紙）

課題1 新しい情報を得たり実践的な指導力を高めたりするために、講習会や研修会(校内も含む)に参加している。

(1) 現在の取組

学校全体の研修については、研修部が中心となって学部別研修(年間7回)、新転任研修(1学期を中心に6回)、公開授業、夏季学習会、全体研修会(地域公開研修)と、年間様々な研修の場を職員(一部地域公開)に提供し、職員全体のスキルアップ、情報交換の場となっている。その中で、今回の学校評価を通じて、職員の声として、日々の業務が忙しいが、生徒児童の課題に応じた研修会に参加したいと思っているという前向きな意見もあった。

(2) 対応

- ① 研修内容、研修時期については、毎年点検や見直しが行われている。今後もその継続と、研修視点を校内の状況だけにとどめず、広く国や県の動向なども視野に入れて新しい情報も取り入れた研修を計画する。
- ② 職員が研修に参加できるように、クラス、学年、学部での調整をし、参加しやすい環境を作る。

課題2 職員のいじめに対する意識を高めるために、情報発信を行っている。

(1) 現在の取組

いじめについては、生徒指導部を中心に各担任が学期ごとに、生徒アンケートの実施など主体的に動いている。また、職員研修としての情報発信を定期的に行っている。また、全国的ないじめ報告件数の増加や、今年神戸市での職員間の事件を受けて、社会全体の学校に向けられる目も今まで以上に敏感になっているだけに、具体的な職員研修を必要とする意見があった。

(2) 対応

- ① いじめに対するアンケート結果も引き続きホームページ上に掲載し、校外に向けても情報発信を行い、地域に開かれた学校として広く意見を求めていく。
- ② いじめを許さない意識を高めるため、生徒指導部がリードを取り、ケース研修等深い理解につながる研修を行い、更に職員の意識を高める。

課題3 生活年齢に応じた性教育(清潔指導・衛生教育指導等)を学校生活全体を通して行っている。

(1) 現在の取組

保健部や養護教諭も加わり、学部学年ごとに性教育年間指導計画を作成し定期的に行っている。また児童生徒個々に応じた指導案も作成し、発達段階に応じた細やかな対応がなされている。

(2) 対応

- ① 学部、学年で養護教諭を招いての清潔教育、性教育を実施する。
- ② 性教育アンケートの結果を受け、授業内容について養護教諭と連携しながら検討する。
- ③ 生活単元、自立活動の中に性教育を位置づける。

課題4 進級・進学後の児童生徒の情報交換を学部間、学年間で実施している。

(1) 現在の取組

進級・進学後の児童生徒の引継ぎや情報交換の大切さは、認識できている。

同じ学部内の情報交換は、新年度当初に時間をかけて行い、その成果も出ている。他学部からの受け入れの際の引継ぎには、まだ物足りなさを感じている教員もいる。引継ぎに際しては、資料を作成し情報交換を行っているが、直接の話し合いの場が必要だと思われる。

(2) 対応

- ① 引き継いだ内容は、職員間で情報共有し、共通理解を深める。
- ② 学年間、学部間の情報共有をより強固とするために学部学年間の教員同士や保護者とも日常的に確認を行う。

課題5 パソコンやテレビ等情報関連機器を、児童生徒の発達段階や障害の状況に応じて教育活動に取り入れている。

(1) 現在の取組

高等部では、生徒全員が iPad を持ち、授業で活用している。全体指導に画像やアプリケーション等 ICT 機器を取り入れた指導を行っている。小中学部でも事前学習やグループ学習で TV やパソコン教材を取り入れたり、視覚優位の児童生徒の学習の手立てとして、積極的に情報機器を活用している。

(2) 対応

- ① 日頃の学習の様子や、情報機器を活用した授業の様子を積極的に学部・学年通信やHPなどを通して発信する。
- ② Wi-Fi 環境を整備する。また、全学部パソコン教室の使用ができるような時間割の工夫を行う。
- ③ ICT 機器を活用した授業づくりの研修を深める。

課題6 施設設備の安全を保ち、整理整頓をしている。

(1) 現在の取組

総務部が中心となって、それぞれの職員が分担し管理している個所の定期点検、安全点検を月末にチェックシートを用いて施設設備の点検を行っている。ただ、学校そのものの老朽化による設備の入れ替えや、古いままの備品も多く、廃棄処分を含めた校内全体の整理整頓が必要な時期にきている。

(2) 対応

- ① 校内全体の物品の整理整頓を長期休業日に設定して職員全員で協力して取り組む。
- ② 施設設備の老朽化による緊急性を伴う改修は、今後実施予定されている「県立学校施設管理計画」も視野に入れながら適宜対応していく。

令和元年度学校評価アンケート総括表(職員用)

(別表2)

評価 5: そう思う 4: どちらかといえばそう思う 3: あまり思わない 2: そう思わない 1: わからない

| NO | 項目 | 評価 | | | | |
|----|--|-----|-----|-----|----|----|
| | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 本校の教育方針に基づき、適切な指導・支援を各学部で行われている。 | 34% | 61% | 5% | 1% | 0% |
| 2 | 児童生徒一人一人の障害の状態や保護者のニーズを把握した個別の教育支援計画を作成し、個に応じた指導を行っている。 | 39% | 58% | 3% | 0% | 0% |
| 3 | 教科・領域ごとに学習計画やねらいを明確にして指導・評価を行っている。 | 33% | 58% | 8% | 2% | 0% |
| 4 | 体験活動(校外学習・宿泊学習等)や修学旅行は、児童生徒の実態に即して計画・実施している。 | 43% | 48% | 6% | 2% | 1% |
| 5 | 児童生徒の学習課題に即して、社会的自立をめざす指導や「働くこと」への意識が向上する取り組みを実施している。 | 29% | 61% | 11% | 0% | 0% |
| 6 | 個々の児童生徒の実態を共通理解し、多様な学習集団を編成して、組織的な学習指導(チームティーチングや個別指導)を行い授業の充実を図っている。 | 42% | 47% | 10% | 1% | 0% |
| 7 | パソコンやテレビ等情報関連機器を、児童生徒の発達段階や障害の状況に応じて教育活動に取り入れている。 | 27% | 62% | 9% | 1% | 1% |
| 8 | 多様化する児童生徒の実態把握や支援の方法等について、情報交換や事例研究を学部や学年、学級ごとに継続的に実施している。 | 33% | 57% | 9% | 1% | 0% |
| 9 | 新しい情報を得たり実践的な指導力を高めたりするために、講習会や研修会(校内も含む)に参加している。 | 24% | 57% | 12% | 5% | 2% |
| 10 | 個人情報保護に高い意識を持ち、適切に管理している。 | 38% | 52% | 9% | 1% | 0% |
| 11 | 児童生徒に災害や交通安全に関する指導を行うとともに、「命の大切さ」について考える機会を持っている。 | 29% | 61% | 8% | 1% | 1% |
| 12 | 職員のいじめに対する意識を高めるために、情報発信をおこなっている。 | 21% | 58% | 15% | 2% | 5% |
| 13 | 災害発生時等に備えて警備防災・緊急マニュアルを確認し、適切な対応を行っている。 | 35% | 56% | 9% | 0% | 0% |
| 14 | 福祉施設、福祉労働行政、各関係機関と連携し、個に応じた適切な進路指導を実施している。 | 37% | 61% | 2% | 0% | 0% |
| 15 | 児童生徒が生き生きと暮らせるよう、思いやりや助け合いの心、ルールやマナー等を育成する人権教育を推進している。 | 34% | 61% | 5% | 0% | 1% |
| 16 | 生活年齢に応じた性教育(清潔指導・衛生教育指導等)を学校生活全体を通して行っている。 | 34% | 55% | 11% | 1% | 0% |
| 17 | 学習活動全体を通して、児童生徒の食生活の向上に役立つよう取り組んでいる。 | 34% | 55% | 9% | 2% | 0% |
| 18 | 施設設備の安全点検や整理整頓を定期的に行っている。 | 39% | 49% | 11% | 1% | 1% |
| 19 | 本校の授業の様子や取り組みを公開し、本校の教育活動に対する保護者・地域住民及び関係者の理解の深化を図り、特別支援教育に対する理解啓発を推進している。 | 51% | 48% | 2% | 0% | 0% |
| 20 | 地域の小学校・中学校・高等学校との交流及び共同学習を計画し、実施している。 | 38% | 54% | 5% | 2% | 2% |
| 21 | メール配信・ホームページ・学年通信等を情報発信の手段として実施している。 | 42% | 48% | 8% | 2% | 0% |
| 22 | 特別支援コーディネーターを中心に、教育相談、支援会議、地域支援等、校内外での支援を実施している。 | 46% | 50% | 3% | 0% | 1% |
| 23 | 校務部や委員会等の活動を通じて、学部間で連携し業務を遂行している。 | 34% | 64% | 2% | 1% | 0% |
| 24 | 進級・進学後の児童生徒の情報交換を学部間・学年間で実施している。 | 24% | 58% | 16% | 1% | 2% |

※集計の四捨五入の関係で、100%にならない項目がありますご了承ください。

集計人数 132

令和元年度学校評価アンケート総括表(保護者用)

(別表2)

評価 5: そう思う 4: どちらかといえばそう思う 3: あまり思わない 2: そう思わない 1: わからない

| NO | 項目 | 評価 | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|----|-----|
| | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 児童生徒一人一人の障害の状態や保護者のニーズを把握した個別の教育支援計画を作成し、個に応じた指導内容や指導方法を工夫している。 | 67% | 28% | 3% | 0% | 1% |
| 2 | 教科・領域ごとに学習計画を立て、指導の目標やそれを達成するための指導の手立てを明確にして指導・評価をしている。 | 53% | 42% | 3% | 1% | 1% |
| 3 | 体験活動(校外学習・宿泊学習等)や修学旅行は、児童生徒の実態に即した内容となっている。 | 50% | 42% | 5% | 0% | 3% |
| 4 | 児童生徒の社会的自立をめざす指導や取り組みを行っている。 | 51% | 42% | 3% | 0% | 3% |
| 5 | 教職員は、チームで協働して学習指導をしている。 | 55% | 34% | 6% | 0% | 4% |
| 6 | パソコンやテレビ等情報関連機器を、児童生徒の発達段階や障害の状況に応じて教育活動に取り入れている。 | 30% | 43% | 8% | 2% | 17% |
| 7 | 教職員は、教科指導や自立活動などの学習活動において、専門性や実践的な指導力をもって教育活動に取り組んでいる | 41% | 43% | 7% | 0% | 8% |
| 8 | 児童生徒の個人情報を適正に取り扱っている。 | 58% | 37% | 3% | 0% | 3% |
| 9 | 災害等から身を守る教育や交通安全に関する指導を行っている。 | 53% | 40% | 4% | 0% | 3% |
| 10 | 生活年齢に応じた性教育(清潔指導・衛生教育等を含む)を行っている。 | 47% | 43% | 4% | 0% | 6% |
| 11 | 学習活動全体を通して、児童生徒の食生活の向上に役立つように取り組んでいる。 | 49% | 43% | 4% | 0% | 4% |
| 12 | 施設設備の安全を保ち、整理整頓をしている。 | 35% | 48% | 11% | 2% | 4% |
| 13 | 授業の様子や取り組みを公開し、特別支援教育に対する理解啓発を推進している。 | 53% | 42% | 3% | 0% | 3% |
| 14 | 地域の小学校・中学校・高等学校との交流及び共同学習を行っている。 | 43% | 42% | 7% | 2% | 7% |
| 15 | メール配信・ホームページ・学年通信等は、学校の情報を得るのに役立っている。 | 43% | 45% | 7% | 2% | 3% |
| 16 | 教育相談、就学相談等の相談業務に加え、定期的に支援だよりを発行している。 | 60% | 36% | 2% | 0% | 2% |
| 17 | 進級・進学後の児童生徒の引き継ぎが校内でできている。 | 33% | 40% | 9% | 3% | 15% |

※集計の四捨五入の関係で、100%にならない項目がありますがご了承ください。

集計人数

223